

つかさ会 会報



2022.5月

つかさ会の皆さま、こんにちは。強まる日差しに初夏のような暑さを感じる日もありますが、体調など崩されてはいないでしょうか。毎年秋に開催されておりました日本糖尿病協会のウォークラリーが、今年は形式を変え、「歩いて学ぶ糖尿病バーチャルウォークラリー」として5月22日に開催されました。無料ウォーキングアプリ「そとでる」を使って楽しく気軽に体を動かし、糖尿病における運動の大切さを学ぶ機会になったと思います。アプリは今後も、日々のウォーキングを楽しむためにご活用いただけますので、興味がある方は是非ダウンロードしてみてくださいね。尚、7月3日(日)の県総会のご案内を同封しましたのでご覧ください。

さて今月は、西7階病棟看護師の廣瀬さんに「さかえ」の読みどころを紹介していただきます。特集2では、当院の堀川 幸男先生が遺伝子異常による糖尿病について詳しく解説されています。糖尿病の理解を深めるために、是非ご一読ください。

文責:酒井 麻有

西7階病棟看護師の廣瀬 真己と申します。5月の「さかえ」についてご紹介させていただきます。

今月号の特集は「糖尿病で合併しやすい心臓や血管の病気」、「糖尿病、遺伝するってホントですか?!」、特別企画は「糖尿病患者さんと家族が知っておきたい介護・看護に関するサービスと制度」です。

まず、特集1は「糖尿病で合併しやすい心臓や血管の病気(P.5)」です。糖尿病は血管内で糖(グルコース)が上昇し高血糖となることが病気の主役となります。高血糖が続くと全身に広がる大小さまざまな血管が傷みやすくなり、合併症を引き起こします。大きい血管の合併症には狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、末梢動脈疾患、小さい血管の合併症には網膜症、腎症、神経障害などがあります。特集1では、糖尿病による心臓・血管の病気の起こり方、見つけ方(検査)、防ぎ方について詳しく説明されています。合併症予防に役立てていただき、検査を受けられた方は、結果について主治医にお聞きになってみてはいかがでしょうか。

次に、特集2は「糖尿病、遺伝するってホントですか?! (P.34)」です。糖尿病には、1型、2型、その他の原因によるものなどのタイプがあり、タイプによっては遺伝が関係します。ただし、両親が糖尿病だからと言って、子供が必ず糖尿病を発症することはありません。糖尿病の発症には、遺伝要因に加えて、食生活、運動習慣などの環境要因が影響します。糖尿病と遺伝の関係について、興味のある方はご一読ください。

最後に、特別企画は「糖尿病患者さんと家族が知っておきたい介護・看護に関するサービスと制度(P.28)」となっています。糖尿病患者さんとそのご家族の方にとって、介護や看護が必要となる未来を想定し、知識を得ておくことはとても大切です。活用できるサービスや制度、またそれに関して役立つ用語などについて説明されています。将来に備えるために、お読みいただくと参考になると思います。

それでは、季節の変わり目に体調を崩されませんように、気をつけてお過ごしください。